



今回インドネシアのメダン市に市川市の国際交流派遣生として行きました。

私は以前から海外の文化や国際交流に興味がありました。そして、市川市がこのような活動を行っていることも知っていたので、自分が高校生になったら絶対に応募しようと思っていました。そしてこの夏実際に行くことができ、また想像以上の体験をして今回の派遣を終えることができても嬉しく思っています。

はじめに、実際に行く前に何回か一緒に行く派遣生とのオリエンテーションがありましたが、私と同じ年のこがおらず、そのメンバーで海外に行くのはとても不安でした。出発の日になり、日本から離れると、もはやそのメンバーが一番安心する人たちになっていました。10日間もの間を共に過ごし、たくさんのことを共有した仲間は、今回の派遣で得ることができた貴重なものの一つだと思いました。

メダンに着いたとき、早速私たちのホストファミリーやメダンの市役所の人たちが大勢で私たちを、出迎えてくれました。正直、インドネシアの特に観光地ではないメダンという所で、初めて会う人たちの所に泊まるのはだいぶ勇気がいりました。しかし夜も遅かったのですぐにそれぞれの家庭に引き渡されていきました。何を話せば良いのかわからない状態で、家の中を案内してくれる中で、この派遣中で最も印象に残るカルチャーショックを受けました。それはというと、シャワールームにトイレがあるので便座がびしょびしょで、もちろんトイレットペーパーはなかったのです。またシャワーというものがなかったので、桶にくんである真水で水浴びをするというものでした。そんな状況で不安が大きくなる中、豪雨によって家の電気が停電してしまいました。真っ暗になったシャワールームの中で水浴びをしたという、日本にいては絶対に経験しないことは一生わすれなれないと同時に、その水浴びを終えた後どんな状況でも乗り切れそうな変な自信がわいてきました。それから、ほとんどの食事がインドネシア料理でしたが、初めて見るものも多い中挑戦して食べることもできました。もちろんインドネシア料理でもおいしいものはたくさんありました。行く前から知っていた、ナシゴレンやミーゴレンなどは場所によって味は異なりますがどれもおいしかったです。またおかずではお肉を食べるより魚を食べる方が多かったです。スイーツ系などは甘めであると感じました。そしてたくさんの種類の果物を食べる機会がありましたがどれも甘くおいしかったです。その中でドリアンを食べる機会がありましたが、匂いは強烈ですが味は案外おいしいかもし

れないと感じたのでつい食べ過ぎてしまいお腹をこわしてしまいました。その日はちょうど夕食会の日で豪華な食事がたくさんだされていたのに、そのせいで全く食べるできませんでした。いくらおいしいと言ってもほどよいところでとめることが大切であるなど実感しました。特に異国で初めて食べる物の時は。

ちょうどそのお腹をこわした時にホストファミリーがとても心配をしてくれて、また最終日であったので荷物を詰めなければいけない状況の時に、夜中に起きてすべて整理をして詰めてくれたことは本当に感謝すると共に優しさをとても感じました。そのほかにもホストファミリーにはとてもお世話になりました。毎日のように車で送り迎えをしてくれたり、休日にはビーチやショッピングにも連れて行ってくれました。夕食は毎日外食で様々なものをごちそうしてくれました。私のホストシスターはちょうど私と同じ年でとても話しやすかったです。でも中身は私よりも大人だと思いました。なぜなら面倒見が良く、買い物の際はいつも通訳をしてくれたり、様々な情報をくれたり、みんなで行きジャングル探索をしていて私が疲れて後ろの方を歩いていたときには、彼女は自分の友達たちの群れから抜け、来て気にかけて一緒に歩いてくれました。その時は本当に嬉しかったです。ホストファミリーだけではなく現地の学生会の子たちや市役所の人たちはみんな陽気で温かくどこにいても楽しかったです。

派遣期間中にはたくさんの場所に行きました。モスクやお城などの伝統的な所から市内の近代的なショッピングセンターなど、毎日予定とは違い盛りだくさんで朝から夜まで充実して過ごすことができました。特に現地の学生会の子とみんなで行った2泊3日の小旅行では大自然を満喫しました。その中でブリジストンの天然ゴムの農園や工場、観光地の市場を訪れた時には、そこで働く人たちはまだまだ月収が低かったり、売るのに必死であったりとインドネシアではまだまだ生活での差があるようでした。

私は今回、このような様々な経験をすることができました。本当に応募をして良かったと思いました。インドネシアというまだ発展途上の国だからこそ想像もしていなかったハプニングがたくさんあって面白みがあり、メダンという観光地としてはまだまだな所であるからこそ味わえる雰囲気があります。だから、知らない場所でも行ってみなければわからないので、これからどんどんいろんな国に足を伸ばして関わっていきたくて強く思いました。そしてまたメダンにも帰りたくなりました。